

日々是Oracle APEX

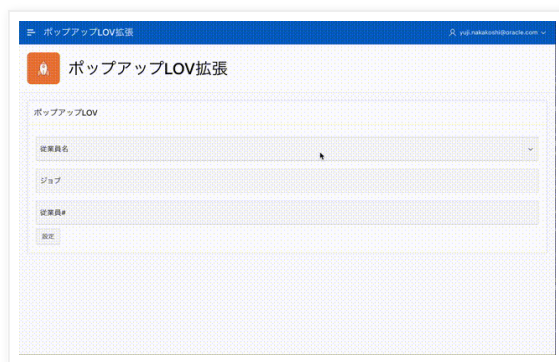
Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年11月22日月曜日

Oracle APEX 21.2新機能(18) - ポップアップLOVの拡張

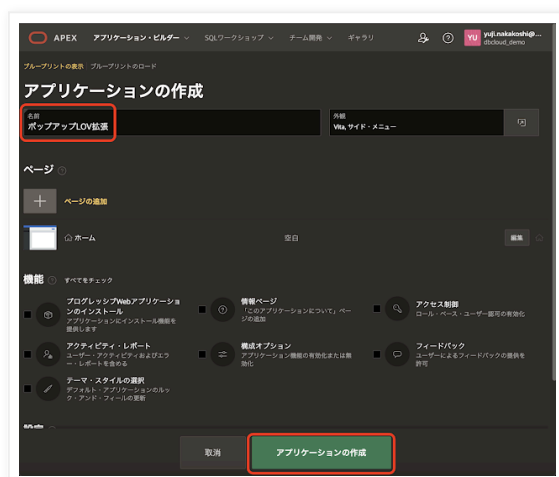
Oracle APEX 21.2より、JavaScript APIのapex.item.setValueを呼び出してポップアップLOVの値を設定したときに、同時にページ・アイテムの表示と追加値も更新されるようになりました。

以下のGIF動画では、最初にポップアップLOVを操作して値を選択しています。その次に動的アクションによって、ポップアップLOVに従業員番号を設定しています。従業員名の表示とジョブの表示も更新されています。

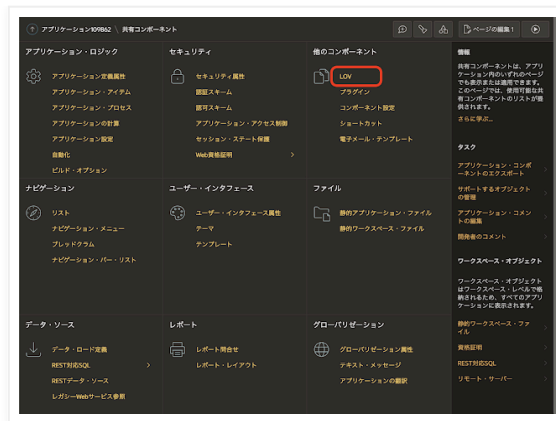


実装について確認してみます。サンプル・データセットのEMP/DEPTがインストールされていて、表EMPが存在することを前提とします。

アプリケーション作成ウィザードを起動し、空のアプリケーションを作成します。アプリケーションの名前は任意です。



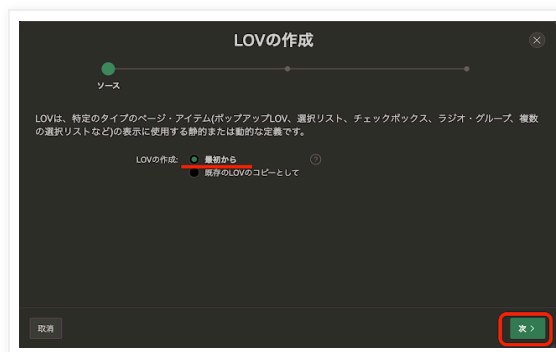
ポップアップLOVで追加値を扱う場合は、共有コンポーネントのLOVが必要です。表EMPを扱うLOVを作成します。共有コンポーネントのLOVを開きます。



作成済みのLOVの一覧ページより、作成をクリックします。



LOVの作成は最初からを選択し、次へ進みます。



LOVの名前はLOV_EMP、タイプはDynamicとします。次へ進みます。



ソース・タイプはTable、表/ビューの名前としてEMP(表)を選択します。次へ進みます。

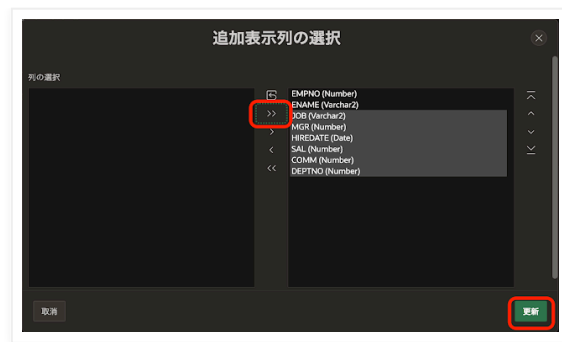
戻り列はEMPNO、表示列はENAMEとします。作成をクリックします。

共有コンポーネントのLOV、LOV_EMPが作成されます。追加値を扱えるように設定を加えます。LOV_EMPをクリックして編集画面を開きます。

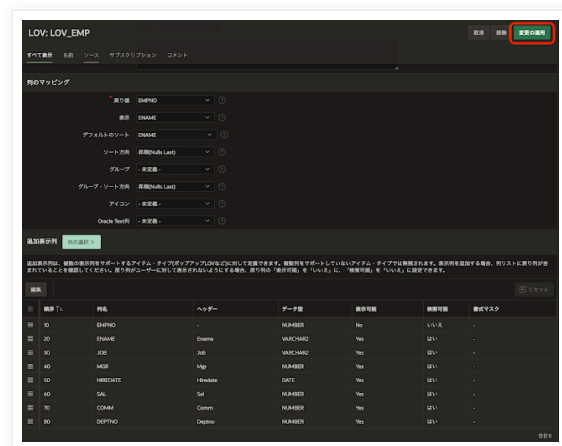
名前	タイプ	更新	エントリ・カウント	サブクライバ	サブスクライバ
LOGIN_REMEMBER_USERNAME	静的	12分前	1		
LOV_EMP	ローカル	即時			

追加表示列の列の選択をクリックします。

今回は検証なので、すべての列を追加表示列にします。更新をクリックします。



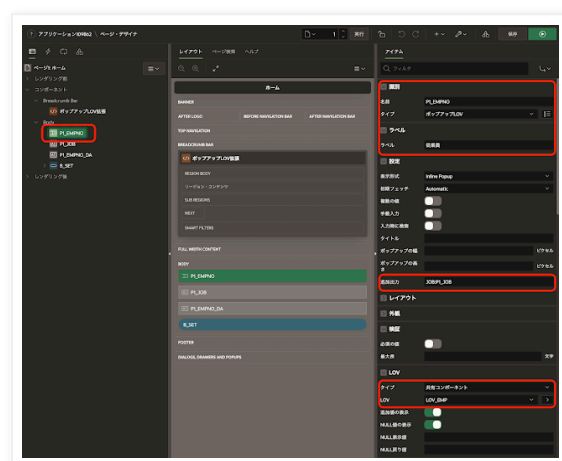
以上でLOVの設定は完了です。**変更の適用**をクリックして共有コンポーネントの作業を終了します。



ホーム・ページをページ・デザイナーで開き、ページ・アイテムを3つ作成します。

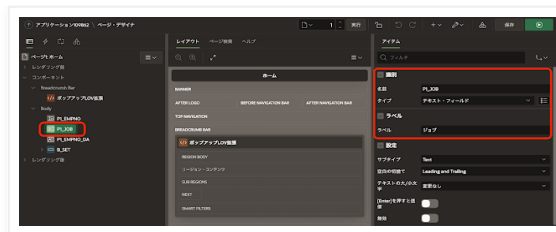
最初にポップアップLOVのページ・アイテムP1_EMPNOを作成します。

識別の名前は**P1_EMPNO**、タイプは**ポップアップLOV**です。ラベルは従業員とします。追加出力として**JOB:P1_JOB**を指定します。LOVのタイプは**共有コンポーネント**、LOVは先ほど作成した**LOV_EMP**を指定します。



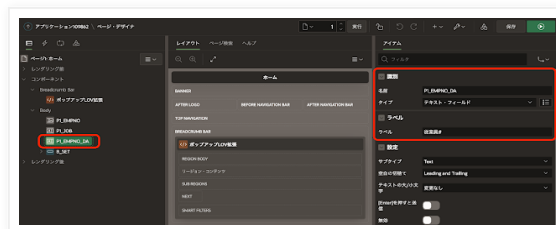
追加出力のジョブを保持するページ・アイテムP1_JOBを作成します。

識別の名前は**P1_JOB**、タイプは**テキスト・フィールド**、ラベルは**ジョブ**とします。



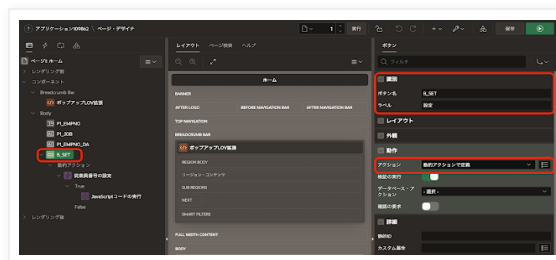
動的アクションの引数とする従業員番号を入力するページ・アイテムP1_EMPNO_DAを作成します。

識別の名前はP1_EMPNO_DA、タイプはテキスト・フィールド、ラベルは従業員#とします。

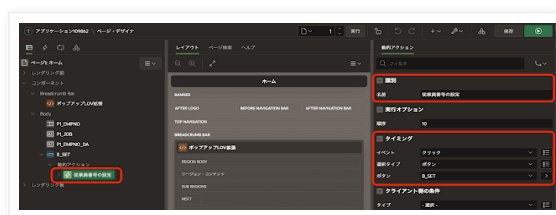


ポップアップLOVに値を設定するJavaScriptのコードを、動的アクションとして実行するボタンを作成します。

識別のボタン名はB_SET、ラベルは設定とします。動作のアクションとして動的アクションで定義を選択します。

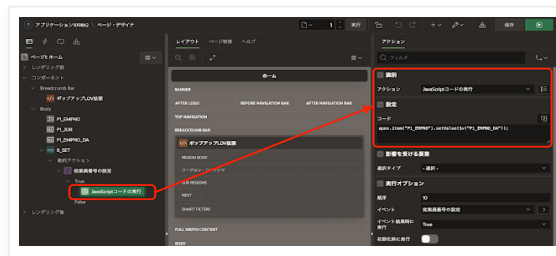


動的アクションは、タイミングとしてボタンB_SETをクリックした時にTRUEアクションが実行されるように設定します。



TRUEアクションを設定します。識別のアクションとしてJavaScriptコードの実行を選択します。コードとして以下を記載します。

```
apex.item("P1_EMPNO").setValue($v("P1_EMPNO_DA"));
```

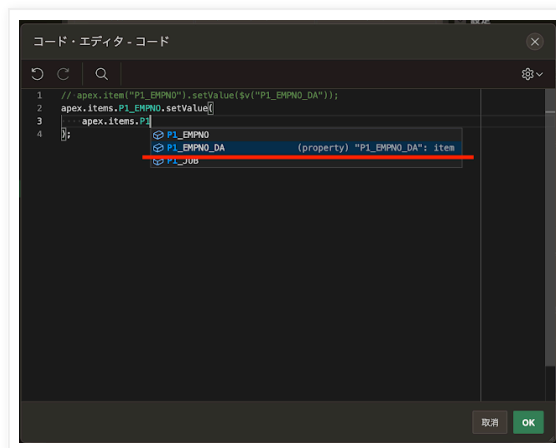


Oracle APEX 21.2からは、`apex.item.setValue`でポップアップLOVの値を設定すると、画面上の表示および追加値も変更されます。結果として、最初のGIF画面の動作になります。

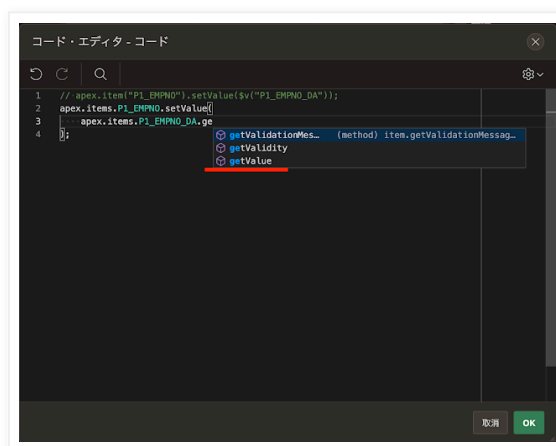
Oracle APEX 21.2では**`apex.items`**というネーム・スペースが追加され、ページ・アイテムの参照が容易になっています。`apex.items`を使用すると上記のコードを、以下に書き換えることができます。

```
apex.items.P1_EMPNO.setValue(
    apex.items.P1_EMPNO_DA.getValue()
);
```

Oracle APEX組み込みのJavaScriptのコード・エディタは、`apex.items.`から続くページ・アイテム名の補完を行うようになっています。



ページ・アイテムから呼び出せるファンクション名も補完してくれます。



`apex.items`以外にコーディングを容易にするネーム・スペースとして、`apex.regions`および**`apex.env`**が追加されています。

ポップアップLOVの拡張については以上になります。

今回作成したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/new212-popup-lov-setvalue.sql>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

追記

apex.item.setValueを呼び出す他に**アクションの値の設定**でも、同様に表示と追加値が設定されます。

設定の**タイプの設定**としてJavaScript Expressionを選択し、JavaScript式としてapex.items.P1_EMPNO_DA.getValue()、影響を受ける要素として選択タイプをアイテム、アイテムにP1_EMPNOを選択します。



完

Yuji N. 時刻: 17:57

共有



ホーム



ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.